

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

AED(自動体外式除細動器)の実習・活用について



質問者
廣瀬 幸男 議員

日本の空港やホテル、公共施設などに広く設置されているAEDは、消火器などと同様に万一の事態が発生した際には、その場に居合わせた人が自由に使えるようになっている。



実際にAEDを一般市民が使うケースは非常に多いと考えられており、日本では救急車が現場到着するまで平均約7分を要するが、心室細動の場合、一刻も早く電気的除細動を施行することが必

要とされている。

一人でも多くの町民が、AEDに関する知識を有することが非常に重要であることから、町民に向けたAED実習や小中学校の保健体育の授業に取り入れることができないか。また、AEDが設置されていない町施設の確認をし、必要とする施設への設置を検討できないか。

AEDは町施設に
順次設置する
回答(町長・教育長)



小学校では、3年生から保健の授業が始まるが、体育の教科の中で心肺蘇生法やAEDは定められていない。小学生の段階では、「体づくり・運動」や「体のしくみ」について学習している。

これらを十分に理解した段階でないと、取り入れることは難しい。
このようなことから、中学生を対象としたAED

「中学生の武道必修化」について



質問者
中野 博 議員

本年4月より、文科省は全国の公立中学校1・2年生に対し、保健体育の授業で武道の必修化を義務付けることとし、我が松田町では柔道を選択したようですが、その目的と事故防止対策についてお尋ねします。



松田少年柔道クラブ

D講習は、心肺蘇生法と合わせて可能な限り授業に取り入れていく。
現在、学校など14施設にAEDを設置しているが、ふれあい動物村・自然休養村管理センター・各幼稚園には設置していない。園児を始め周辺の住民の方にも使えるよう、計画的に設置していきたい。

AED
絶対に
無事故！
回答(教育長)



武道必修化の目的は、『伝統と文化の尊重』の考えのもと、「人を思いやり」、「人を尊重し」、「お互いに喜びを分かち合う心」を再び呼び起こそうとするものであり、武道を通じて礼儀・作法を習得することである。

松田町では、柔道を選択したが、他のスポーツと比べ危険度は突出している。しかし、しっかりとした指導計画に基づき、生徒同士が調子づいて投げあったりすることのないように、指導者の目くばり・気くばり・心くばりにより、一件の事故も起こさないこと、万一の場合の対応策も万全にしていきたい。